News Release

東武トップツアーズ

2026 年 9 月 30 日

「観光客」から「地域の担い手」への発想の転換
地域創生の新たな社会実装モデルアイデアを発表！
～「未来社会デザインコンテスト 2026 最終提案発表会」を実施～

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）は、当社が事務局を務める一般社団法人未来社会デザイン機構（FSDi／以下「FSDi」」と記載）の共創会員の協力のもと「未来社会デザインコンテスト 2026 最終提案発表会」を実施し、「地域の未来をどう創るか」という本質的な社会実装プラン 4 案の発表を行いましたのでお知らせします。

本コンテストは、FSDi が地域課題の解決に向けた新たな視点のアイデアを募集するため、既存の枠組みや費用対効果にとらわれにくい、全国の学生を対象に実施した地域活性化プログラムです。若者ならではの斬新な視点を地域に還元し、産官学の専門家たちからの多角的なフィードバックを通じて「アイデアの社会実装」へと繋げることを目的としています。また、学生が地域に入り込み、地域の皆さまと同じ課題を共有して解決策を模索するプロセス自体が、将来の地域を支える「若い関係人口」を創出する重要な取り組みと位置付けています。

当日は、全国約 40 件の応募の中から審査を通過した 4 名のファイナリストが 8 月末に「長野県・志賀高原」および「福井県・東尋坊」の現地でフィールドワークを行い、地元事業者や行政との対話を重ねて磨き上げた企画案が発表されました。

学生によるプレゼンテーションの様子

講評者らの熱心なフィードバック風景

登壇学生と関係者全員での集合写真

■ 最終発表における提案概要

【志賀高原エリア】・・・消費する自然から、入り込み、記録する自然へ

・立石 悠翔さん（大阪公立大学）：「ただいま、志賀高原。」

観光客の目線ではなく、地域の日常や仕事（自然保全等）に「労働・体験」として入り込むことで地元の方々との深い繋がりを生み出し、「ただいま」と何度も帰ってきたくなる「関係人口(第 2 の故郷)」創出プランを提案。

・橋本 明さん（名桜大学）：「志賀高原自然図鑑プロジェクト」

絶景を単に「見る・撮る」のではなく、「観察して描く」手順を加えることで自然の解像度を上げ、さらにその絵を夜の自然の中に投影展示することで、自分の足跡が地域の魅力の一部になるという、全く新しい滞在価値を提案。

【東尋坊エリア】・・・完成を待つ観光から、未完成を楽しむ観光へ

・奥出 凛乃さん（立教大学）：「みんなで育てるグルメの聖地・東尋坊」
これから始まる同エリアの再整備工事期間を逆手にとり、地元学生実行委員会が主導してグルメアイデアを募集。完成までのプロセス自体をエンターテインメント化しファンを育て、ハード面の完成時におけるコミュニティ創出プランを提案。

・折原 知晟さん（武蔵野大学）：「東尋坊版 学生共創インターン構想」
施設ができれば人が来る、という思い込みからの脱却を図り、再整備期間中から若者が地域課題に関わるインターンを立ち上げることで、施設の完成と同時に未来の担い手も育っている状態を作る仕組みを提案。

発表後には、FSDi の理事・顧問陣をはじめ、現地事業者、オンライン参加した環境省・志賀高原管理官事務所、福井県坂井市長から、アイデアで終わることなく実装の実現を期待するフィードバックと、大きなエールが送られました。

当社は、長年の送客業務を通じて築いてきた「東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟（旅ホ連）」および「運輸観光施設連盟（運観連）」との信頼関係を基盤に、FSDi の事務局機能を担っています。本コンテストで生まれた優れたアイデアを「発表して終わり」にするのではなく、当社のネットワークを活かし、現地自治体や事業者、賛同企業と連携した事業化や社会実装に向けた実証実験のサポートを継続してまいります。そして、今後も FSDi をハブとした共創の取り組みを推進し、持続可能な未来社会のデザインに貢献してまいります。

以上

報道関係の方からのお問合せ
東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当　TEL:03-3622-6215

（参考）

■本プロジェクトの開催体制（主催・協力団体・行政・企業概要）

【主催・協力団体概要】

・一般社団法人未来社会デザイン機構（FSDi） HP：https://fsdi.or.jp/

産学官の連携を通じて持続可能な未来社会を構築することを目的に 2026 年 2 月に設立された共創プラットフォーム。本コンテストの実施主体。

・東武トップツアーズ株式会社 HP：https://www.tobutoptours.co.jp/

全国の自治体や観光事業者とのネットワークを活かした地域活性化事業を展開。本コンテストでは FSDi の事務局および連盟組織とのハブを担当。

・株式会社フラスポ（FLASPO） HP：https://flaspo.jp/

学生の挑戦を応援する共創プラットフォームを運営。プロジェクト全体の企画・運営、および特設 WEB サイトの管理を担当。

・株式会社ジェイ・エス・ビー（UniLife） HP：https://www.jsb.co.jp/

全国で学生マンションの企画開発・運営を手がける。学生ネットワークを活かし、コンテストの学生向け周知・展開をサポート。

【エリア協力団体・企業・行政概要】

＜志賀高原エリア＞

・環境省 上信越高原国立公園 志賀高原管理官事務所 HP：https://www.env.go.jp/park/joshinetsu/

志賀高原エリアの自然保護・管理および持続可能な観光利用を推進する国家機関。

・一茶のこみち 美湯の宿 HP：https://yudanakaview.co.jp/

湯田中温泉に位置する源泉掛け流し 100%の天然温泉旅館。

・株式会社 S&T 観光開発（2307 グループ） HP：https://yokoteyama2307.com/

「志賀高原横手山・渋峠スキー場」を運営するオールシーズンリゾート事業者。

＜東尋坊エリア＞

・坂井市役所 産業政策部 観光交流課 HP：https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/

『東尋坊再整備基本計画』に基づき、官民一体となったまちづくりを推進する行政機関。

・東尋坊まちづくり株式会社 HP：https://www.tojinbo.co.jp/

東尋坊周辺の活性化や景観維持、観光インフラ整備を行う地域一体のまちづくり会社。

・東尋坊正太楼 HP：https://tojinbo.com/

東尋坊商店街で飲食・土産物販売を行う老舗企業。